

続・教科書から見た

# 明治初期の言語・文字の教育

国語シリーズ50

文 部 省

続・教科書から見た

明治初期の言語・文字の教育

古 田 東 朔

## 刊 行 の 趣 旨

国語シリーズは、国語の改善と国語教育の振興に関する施策を普及徹底するために編集するものです。

このシリーズは、国語問題編・国語教育編・国語生活編・国語教養編および資料編に分け、問題編は主として国語審議会の発表した事がらを、教育編は国語学習指導の方法などを、生活編は国民の言語生活に関する事がらを解説するものであり、教養編は一般の国語教養を高めることを、資料編は国語改善と国語教育に関する基礎資料を集録することを目的としたものです。

すでに教育編は 15 冊 問題編は 12 冊、教養編は 8 冊、資料編は 9 冊、生活編は 5 冊刊を行しましたが、各編にわたって今後ともひきつづき刊行する予定です。

この本は、資料編の 10 冊目として、「教科書から見た明治初期の言語・文字の教育」について、さきに刊行した同じ題の本の続編を古田東朔氏に依頼して執筆していただいたものです。

昭和 36 年 7 月

文部省調査局国語課長

白 石 大 二

# も く じ

## 第 1 章 自由教育令から改正教育令へ

- 1 制度の変更…………… 1
- 2 儒教主義の復活…………… 4

## 第 2 章 小学校における言語・文字の教育

- 1 小学校教則綱領…………… 7
- 2 就 学 状 況……………12
- 3 心性開発主義の風潮……………14
- 4 教 科 書……………18
  - (1) 読 方……………21
  - (2) 作 文……………40
  - (3) 習 字……………48

## 第 3 章 中等学校における言語・文字の教育

- 1 和漢文科の設置……………55
- 2 就学状況……………57
- 3 教科書……………59
  - (1) 読 書……………59
  - (2) 作 文……………71
  - (3) 文 法……………75
  - (4) 習 字……………80